

1 基本項目	事務事業名	新川学びの森天神山交流館運営事業			担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	1. 交流館運営費				係名	文化係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	平成14年	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			算科目	款	教育費
		政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費
		施策名	31 生涯学習の推進				目	学びの森天神山交流館費
		基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり				アウトソーシング導入状況	
	根拠法令				総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を広く市民に提供する。
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 施設経費	円	52,469,000	51,361,380	61,241,000
成果指標	② 自主事業実施回数	回	155	146	160	143	89.4%	165
	③							
	① 利用件数	件	7,400	7,450	7,500	6,559	87.5%	7,600
	② 利用者数	人	57,000	51,974	58,000	50,853	87.7%	58,000
	③ 施設利用収入	千円	11,400	11,153	11,500	11,602	100.9%	11,931

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円	4,000,000	3,999,380	3,072,600
② 委託料	円	45,602,000		45,602,000	56,075,560	56,075,560	23.0%	47,595,000
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円							
⑤ その他	円	30,000		30,000	30,000	30,000	0.0%	30,000
	支出合計(A)	円	49,632,000	49,631,380	59,178,160	59,178,160	19.2%	49,225,000
財源内訳	① 国庫支出金	円			3,143,000	2,880,000		
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	467,000	409,819	428,000	1,495,502	264.9%	2,421,000
	⑤ 一般財源	円	49,165,000	49,221,561	55,607,160	54,802,658	11.3%	46,804,000
	収入合計	円	49,632,000	49,631,380	59,178,160	59,178,160	19.2%	49,225,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	240	400	240	400	0.0%	700
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,008,000	1,680,000	1,008,000	1,680,000	0.0%	2,940,000
総費用(A+B)	円	50,640,000	51,311,380	60,186,160	60,858,160	18.6%	52,165,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○本館棟、レッスン棟、合唱棟、タワー棟、宿泊棟、体育館棟の耐震診断調査を実施した。</p> <p>○交流・学習棟(レッスン棟)の外壁パラペットタイルの補修を行った。また、自動火災報知機の複合盤の故障により必要最低限の機能を有する受信機に交換するなど設備の更新修繕を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	C	C	自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり
目的の妥当性					1 妥当である	生涯学習を推進するための事業として妥当である。
対象の妥当性					2 検討の余地あり	施設の利用対象は、若者から高齢者までとしているが、特に、本施設の特徴である音楽施設としての利用が低い。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	利用件数、利用人数は、減少傾向にあるがおおよそ維持している。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	類似事業として新川文化ホール管理事業がある。
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高いが、利用者に偏りがあることから工夫が必要である。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	3 低い	平日に空き室が多いことから、利用促進に向けた努力が必要である。
				実施主体の適正化	1 適正である	指定管理者制度を実施しており、適正に実施されている。
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	利用料金の一部見直しの必要あり。利用料収入が増えれば、指定管理者の更新に合わせ、指定管理料の減額が必要である。
1次評価(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針(評価結果)	既存の利用者に対する利便性の向上に努めるほか、指定管理者による自主事業の充実や多様な団体等への利用の働きかけにより利用者の拡大を図る必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	青年活動パワーアップ事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	青年活動パワーアップ事業			係名	生涯学習係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			予会計	一般会計
		政策名	10 明日を担う人づくり			款	教育費
		施策名	31 生涯学習の推進			項	社会教育費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			目	社会教育総務費	
根拠法令					アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	新川学びの森天神山交流館で青年向けに3つの教室（抹茶・料理・着物着付け）と1つのサークル（ストリートダンス）を実施している。 また、市内若者による魚津市の活性化を目的とした事業を団体（うおづ屋・実行委員会魚津音組）へ委託している。
	対象	市内在住または市内へ通勤している青年（主に18歳～35歳）
	手段（活動指標）	青年教室の実施。青年団体によるイベントの実施・参加を通して交流する。
	意図（成果指標）	青年教室に参加することにより、余暇を有効に活用することができる。また、イベントを企画・運営することにより、青年同士の交流が深まり、若者が元気になり、魚津市が活性化する。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 青年教室・サークル数	箇所	5	4	4	4	100.0%	3	
	② パワーアップ塾（うおづ屋）事業数	回	2	1	2	2	100.0%	1	
	③								
	成果指標	① 学びの森青年会登録者数	人	110	69	100	34	34.0%	100
		② うおづ屋の交流団体数	回	3	5	5	3	60.0%	-
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	90,000	61,907	90,000	83,828	35.4%	90,000
	② 委託料	円	500,000	500,000	500,000	500,000	0.0%	500,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	894,000	447,190	721,000	462,639	3.5%	721,000
	支出合計（A）	円	1,484,000	1,009,097	1,311,000	1,046,467	3.7%	1,311,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	1,484,000	1,009,097	1,311,000	1,046,467	3.7%	1,311,000
	収入合計	円	1,484,000	1,009,097	1,311,000	1,046,467	3.7%	1,311,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	200
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,680,000	0.0%	840,000
	総費用（A+B）	円	3,164,000	2,689,097	2,991,000	2,726,467	1.4%	2,151,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○青年教室での練習の成果を披露するため、生涯学習フェスティバルに参加した。【開催日】3月15日【場所】学びの森交流館</p> <p>○うおづ屋のメンバー募集チラシをイベント等で配布し、メンバーの増員に努めた。また、各団体主催事業には、協力イベントを盛り上げた。</p> <p>・うおづ屋主催事業：魚津の若者を紹介する青年取材誌「Y O U」を発刊し、全戸配布した。脚光の浴びにくい一般青年の活動を広く市民に知ってもらうことを目的に年1回発行することを目標にしている。</p> <p>・魚津音組主催事業：「USIC FES!!2014」で、ドームテントにペンキで自由に色を塗るイベント「ボクらのテント ヤンチャカケッチャ」事業を実施した。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	B	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					2 検討の余地あり	青年教室は、青年層のみを対象とした教室であるが、青年層のみに対象を絞ることが妥当か検討の余地がある。
対象の妥当性					1 妥当である	青年活動の活性化としては、妥当な事業である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	学びの森青年会に登録する人数が激減している。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	青年層を対象とした委託事業は、他にはないが、生涯学習教室のような市民一般を対象とした教室はある。
				上位施策への貢献度	2 普通	学び続ける環境づくりの青年活動の活発化のためには、必要な事業である。
効率性	効率性	C	B	コスト効率	2 普通	必要最小限の予算で行っている。
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	委託先が固定されており、他の団体でも実施されるよう改善すべきである。
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	委託団体等の自己資金も活用すべきである。
1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針（評価結果及び今後）	地域における青年活動が停滞する中、次代を担う青年が自らの意欲と情熱を高め、まちづくりや夢を実現するための企画・立案をする力や行動力を培う機会を提供していく。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	生涯学習振興事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習振興事業			係名	生涯学習係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	昭和45年度	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			予会計	一般会計
		政策名	10 明日を担う人づくり			款	教育費
		施策名	31 生涯学習の推進			項	社会教育費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			目	社会教育総務費	
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。
	対象	社会教育委員
	手段 (活動指標)	社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会（東海北陸ブロック）への参加
	意図 (成果指標)	社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 社会教育委員研修回数	回	3	2	3	2	66.7%	3	
	②								
	③								
	成果指標	① 社会教育委員からの提言数（会議開催数）	件	2	1	2	1	50.0%	2
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	413,000	252,031	428,000	289,877	15.0%	402,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	10,000	10,000	30,000	18,000	80.0%	6,000
	⑤ その他	円	253,000	161,000	180,000	91,600	-43.1%	217,000
	支出合計（A）	円	676,000	423,031	638,000	399,477	-5.6%	625,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	676,000	423,031	638,000	399,477	-5.6%	625,000
	収入合計	円	676,000	423,031	638,000	399,477	-5.6%	625,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	400	400	400	300	-25.0%	300
	③ 人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,260,000	-25.0%	1,260,000
	総費用（A+B）	円	2,356,000	2,103,031	2,318,000	1,659,477	-21.1%	1,885,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○平成26年4月25日に社会教育委員会議を開催し、平成26年度の重点事業について事務局より説明の後、委員から事業への意見や提言を受けた。その後、希望者は、歴史民俗博物館の企画展「くらしのうつりかわり展」を視察した。</p> <p>○第45回東海北陸社会教育研究大会石川のど里山里海大会に社会教育委員と事務局が参加した（1日目：7名、2日目：4名の参加）。平成26年度は、魚津市が分科会の話題提供者として、「地域の教育力の向上と住民参加による地域活性化」と題して、委員長である大崎公民館長が発表した。2日間にわたる大会で、他市町村の実践や研究成果について情報を交換し交流を深めた。（大会日程：平成26年10月16日～17日）</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	生涯学習の推進のためには、事業を評価・検証することが必要である。
対象の妥当性					1 妥当である	社会教育委員は対象として妥当である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	年度当初の1回限りの委員会の開催では、委員の提言を受けるだけで、事業に反映させることは困難である。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じような事務事業はない。
				上位施策への貢献度	2 普通	年1回の会議の開催では、上位施策に貢献しているとは言いがたい。
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	人件費を除くと必要最小限の予算である。
				実施主体の適正化	1 適正である	市が主体となって行うべき事業である。
				負担割合の適正化	1 適正である	委員の方にも研修を受けて頂きながら、委員会から提言を受ける事業であり、適正である。
1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後（課題及び今後） 評価結果	社会教育委員に行政外の立場から幅広い助言や意見をいただき、反映していくことは重要であり、市民ニーズにあった社会教育事業の推進を図っていく。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	生涯学習教室等事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習教室等事業			係名	生涯学習係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	昭和50年度	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			予会計	一般会計
		政策名	10 明日を担う人づくり			款	教育費
		施策名	31 生涯学習の推進			項	社会教育費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			目	社会教育総務費	
根拠法令					アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。 市民の教養を高めることを目的に、市民教養講座ハートフルセミナーを開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	習い事などの生涯学習活動を始めたい人のニーズに沿った講座を設ける。
	意図(成果指標)	講座受講をきっかけに、生涯学習に取り組む人が増える。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 開催教室数	教室	14	18	12	11	91.7%	12	
	② ハートフルセミナー	回	2	2	2	2	100.0%	2	
	③ 生涯学習フェスティバル	回	1	1	1	1	100.0%	1	
	成果指標	① 受講者数	人	220	157	200	97	48.5%	200
		② ハートフルセミナー参加者数	人	30	19	50	104	208.0%	100
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	157,000	143,752	187,000	164,663	14.5%	170,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	790,000	498,165	750,000	280,045	-43.8%	700,000
	支出合計(A)	円	947,000	641,917	937,000	444,708	-30.7%	870,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	200,000	205,000	200,000	88,500	-56.8%	200,000
	⑤ 一般財源	円	747,000	436,917	737,000	356,208	-18.5%	670,000
	収入合計	円	947,000	641,917	937,000	444,708	-30.7%	870,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	400	400	400	300	-25.0%	200
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,260,000	-25.0%	840,000
	総費用(A+B)	円	2,627,000	2,321,917	2,617,000	1,704,708	-26.6%	1,710,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○初心者を対象とした生涯学習教室を11教室開催し、97名が受講した。</p> <p>○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。【開催日】平成27年3月15日【場所】新川学びの森天神山交流館</p> <p>○“故郷を学ぶ”今を知り、明日の魚津を考えよう！をテーマに市民教養講座ハートフルセミナーを2回開催した。</p> <p>・取材を通じて魚津の魅力を再発見！【開催日】12月11日【場所】ありそドーム研修室【参加者数】38名</p> <p>・魚津の戦国山城～松倉城とその支城群について～【開催日】1月28日【場所】ありそドーム研修室【参加者数】66名</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	B	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	生涯学習に取り組むきっかけづくりとして妥当な事業である。
対象の妥当性					1 妥当である	市民一般を対象としている。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	生涯学習教室は、原則入門コースとして募集し、最小催行人数を7名としているが、人数が集まらず取りやめている教室がある。
				類似事業の有無	1 なし	他の部局に類似する事業はない。
				上位施策への貢献度	2 普通	学び続けるきっかけづくりに貢献している。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	生涯学習教室は、講師謝礼1回あたり2,500円で教室運営をすべて講師にお願いしている。
				実施主体の適正化	1 適正である	学び続けるきっかけづくりとして、市が実施している。
				負担割合の適正化	1 適正である	受講生には、1月あたり500円の受講料をお願いしている。
	1次評価(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後の(課題及び今後の方針)	市が主催する生涯学習教室は、生涯学習のきっかけづくりであることから、さらに、新規受講生が入りやすい環境整備を進める。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業			担当部署	課名	図書館	
	予算事業名	資料収集保存事業				係名	図書係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-22-0462		
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度	当面継続			
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			予会計	一般会計	
		政策名	10 明日を担う人づくり			款	教育費	
		施策名	31 生涯学習の推進			項	社会教育費	
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			目	図書館費		
根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者に提供する。
	対象	市民及び図書館利用者
	手段 (活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
	意図 (成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが增加する。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市民	人	44,728	44,036	44,490	43,555	97.9%	44,178
	② 図書館利用登録者数	人	22,000	22,987	23,500	24,258	103.2%	25,000
	③ 蔵書数	冊	245,000	244,885	250,000	252,522	101.0%	255,000
	① 入館者数	人	260,000	227,959	245,000	217,549	88.8%	225,000
	② 貸出冊数(個人)	人	350,000	321,780	340,000	310,767	91.4%	325,000
	③ 貸出者数(個人)	人	79,000	71,539	77,000	72,515	94.2%	75,000

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	1,442,000	1,402,885	1,483,000	1,360,797	-3.0%	1,588,000
	② 委託料	円	990,000	857,196	1,019,000	784,637	-8.5%	946,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	12,449,000	12,448,964	12,191,000	12,190,299	-2.1%	11,941,000
	支出合計(A)	円	14,881,000	14,709,045	14,693,000	14,335,733	-2.5%	14,475,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	630,000	626,565	280,000	260,502	-58.4%	20,000
	⑤ 一般財源	円	14,251,000	14,082,480	14,413,000	14,075,231	-0.1%	14,455,000
	収入合計	円	14,881,000	14,709,045	14,693,000	14,335,733	-2.5%	14,475,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	3,800	3,800	3,800	3,200	-15.8%	3,600
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	15,960,000	15,960,000	15,960,000	13,440,000	-15.8%	15,120,000
総費用(A+B)	円	30,841,000	30,669,045	30,653,000	27,775,733	-9.4%	29,595,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者に提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	図書館法で明記	
目的の妥当性				1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため		
対象の妥当性				1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため		
有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が目標通り		
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業はない		
			上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高くも低くなかったため		
効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため		
			実施主体の適正化	1 適正である	民間委託等になじまないため		
			負担割合の適正化	1 適正である	市の財産であるため		
1次評価 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり		2次評価	不要	
後の方針 (評価結果及び今後)	開館日数が15日増加したにもかかわらず、図書館の利用者減に伴い、貸出冊数も減少している。郷土資料の充実と魚津市立図書館の特徴的を生かした資料の収集を行いたい。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	図書館教養・普及事業			担当部署	課名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業				係名	図書係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-22-0462		
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面維持	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			算科目	款	教育費
		政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費
		施策名	31 生涯学習の推進				目	図書館費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令	図書館法第3条第1項第6号			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催					
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方					
	手段 (活動指標)	図書館映画上映事業、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、図書館教室(古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、時事英語を読む会、川柳教室)、おりがみ教室、図書館コンサート、魚津高校放送部発表会（ライブ・イン・ライブラリー）					
	意図 (成果指標)	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。					

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 図書館教室開講数	件	65	65	65
成果指標	② おはなし会開催数	件	60	60	60	62	103.3%	60
	③ 各種集会回数	件	40	38	40	42	105.0%	40
	① 図書館教室参加人数	人	750	800	750	786	104.8%	750
	② おはなし会参加人数	人	1,500	1,095	1,500	1,037	69.1%	1,500
	③ 各種集会参加人数	人	1,400	1,304	1,400	1,437	102.6%	1,500

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円	101,000	100,451	205,000
② 委託料	円							
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円	1,000		1,000	1,000	1,000	0.0%	1,000
⑤ その他	円	64,000		42,254	64,000	36,154	-14.4%	67,000
支出合計 (A)		円	166,000	143,705	270,000	240,478	67.3%	215,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	30,000	72,300	30,000	40,300	-44.3%	30,000
	⑤ 一般財源	円	136,000	71,405	240,000	200,178	180.3%	185,000
収入合計		円	166,000	143,705	270,000	240,478	67.3%	215,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	2,500	2,500	2,500	3,000	20.0%	2,800
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	10,500,000	10,500,000	10,500,000	12,600,000	20.0%	11,760,000
総費用(A+B)		円	10,666,000	10,643,705	10,770,000	12,840,478	20.6%	11,975,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容					
	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座、お話し会、おりがみ教室、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。					

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	図書館法で明記
目的の妥当性					1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
対象の妥当性					1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が目標通り	
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業はない	
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高くも低くなかったため	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため	
				実施主体の適正化	1 適正である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
				負担割合の適正化	1 適正である	事業によっては教材費を徴収しているため	
1次評価 (課長総括)		A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針 (評価結果及び今後)		蔵書を生かしたイベントを行うことで、書籍の貸し出しを増やしていきたい。			評価結果		